


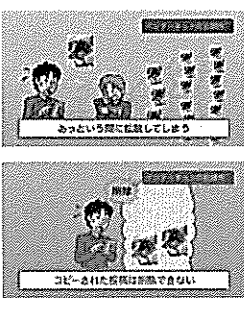

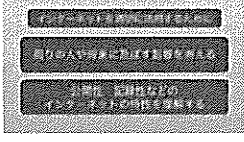


教材 10 軽はずみな SNS への投稿

シナリオ・スライド

<p>導入編</p>		<p>中学生 4 人が近くのスーパーメクストで職場体験活動を行いました。そこで働いていたアルバイトの大学生かずきさんが中学生の緊張をほぐそうとついつい悪ふざけをして、商品であるタコを頭にのせて写真を撮り始めました。そして、面白い写真が撮れたと、かずきさんは SNS に投稿してしまいました。</p>
		<p>それを目撃した中学生の 1 人であるまみさんは家に帰ってもショックを感じていました。数日後、新聞にスーパーメクストがアルバイトのかずきさんを解雇したことが載っていました。この記事を発見したまみさんのお母さんが、いろいろ調べてみると、騒ぎは大きくなり、スーパーメクストが閉店したこと、かずきさんもインターネット上で個人が特定され、大変なことになっていることがわかりました。お店から多額の損害賠償請求もされているようです。ちょっとした悪ふざけが大変な事態を引き起こしてしまいました。</p>
<p>解説編</p>		<p>頭にタコをのせている写真を SNS に投稿してしまったかずきさん。何よりもよくなかったことは商品であるタコを頭にのせるという行為です。衛生上あってはならないことを行ったことは大きな問題です。近年面白いからという理由で SNS に不適切な投稿をする若者がおり、インターネットに関連する問題として取り上げられることもあります。しかし、まず考えなければいけないことは、法に触れること、社会のモラルに反することはやってはいけないということです。</p>
		<p>一方で、ここまで事態が大きくなったことは、インターネットの特性が関係しています。 1つはインターネットの公開性です。インターネット上に発信した情報は、世界中の人が見ることができます。あっという間にかずきさんの写真は広まってしまいます。 もう1つは、インターネットの記録性です。インターネット上の情報は、コピーすることができます。コピーされた写真は、かずきさんが削除することはできません。</p>
		<p>かずきさんはこの後どうなってしまうでしょうか。既に、お店からは損害賠償を請求されています。就職試験では、過去に不適切な投稿等をしていないか調べている会社もありますので、もしかしたら、就職がうまくいかなくなるかもしれません。</p>
		<p>不適切で軽はずみな投稿が、人生を、ここまで台無しにしてしまうとは想像もしていなかったことでしょう。インターネットに情報を発信するときは、現実の世界でも非難を受ける内容ではないかをよく考え、上手に利用するよう心がけましょう。</p>